

2015 グッドデザイン・ベスト 100 [木のカタマリに住む]



- 受賞対象名 新築住宅 [木のカタマリに住む]
- 受賞者 法政大学デザイン工学部 網野禎昭
株式会社平成建設 株式会社宮田構造設計事務所
- 概要 わずかな割れや欠点のために市場流通しないスギ製材を大量に活用した住宅。屋根も床も壁も、無垢の木材を隙間なく並べた、木のカタマリの家。
木をカタマリとして利用することで、強度・快適性・美しさなど、木の多様な特徴の相乗効果を引き出すとともに、低市場価値木材の大量活用により国内林業・木材産業の活性化を図る。
- 背景 日本林業の衰退により森林は十分な手入れがされず荒廃が目立つ。節が多く丸みやひび割れのある木材は欠点材と呼ばれ、デッドストックとして製材所の片隅に行き場を失い大量に放置されている。国産材が高価な理由には消費者の選り好みにも原因があり、このような低市場価値材を無駄なく活用することができれば、山に戻る利益も増えと考えられる。
- 企画・開発の意義 近年、大規模な設備投資により、大型の接着積層パネルなどの工業化木質材料の開発が進められている。国内林業・木材産業の活性化を狙う点では、本提案も同様であるが、スクリー・釘・ダボなどによる“ローテク”とも言える手工業的製造にこだわった構法であるため『多様な中小規模事業者の参入』に道を開くものである。

審査委員の評価

特殊な生産施設やエンジニアリングを前提とする新しいタイプの木造建築に対してどの地方にもあつて捨てられているような木材だけを用い、中小規模の生産者でも加工や施工が可能な構法を構想し、同時に独自の空間デザインに結実させた点が高く評価できる。



文 GOOD DESIGN AWARD 掲載情報から抜粋・編集
写真 株式会社平成建設